

# MobileIron Bridge

## PCのセキュリティと管理にEMMを活用



### Windows 10とEMMがPC管理を変革

モバイルとPCのセキュリティは統合されつつあります。近年のPC管理は、めまぐるしく変わる企業のニーズとセキュリティモデルの進化に合わせて大きく進歩しています。現在、PC管理の一般的なモデルでは、グループポリシーオブジェクト (GPO) 群によって統治されるドメインにデバイスを参加させます。そしてこのGPOで、所定のユーザーグループに対するシステムの見え方や動作を定義します。従来のPC管理ツールは、すべてのデバイスがローカルエリアネットワーク (LAN) に持続的に接続しているときに最も有効です。しかし、従来のドメイン参加のデバイスより急速に企業ユーザーに普及しつつあるモバイルデバイス、すなわち断続的に接続するデバイスを管理する柔軟性はありません。このためIT管理者は、社内で使用される多様なデバイスを一貫して管理できるプラットフォームを必要としています。Windows 10は、ドメイン参加によるデバイス管理ではなく、企業内の単一信頼点としてエンタープライズモビリティ管理 (EMM) を確立することで、このギャップを解消します。

Windows 10とエンタープライズモビリティ管理 (EMM) は、今後PC管理を大幅に簡素化し、セキュリティを強化すると期待されています。ガートナー社は次のように述べています。「EMMはWindows 10及びMac OS Xを管理する際の選択肢として最初に入れるべきです。EMMはこれまでのPC管理の常識を打ち破る存在です。なぜならEMMは根本的により効率的な管理機能を提供して、未だに対処されていないユースケースに焦点をあて、既存のユースケースのためにより良いユーザー体験を提供するからです。」

したがって2016年以降、PCのセキュリティと管理において従来のPC管理ソリューションから現代的なEMM方式への移行が進むと思われれます。

### MobileIron BridgeがEMMのギャップを解消

PCとモバイルの両方をEMMで管理することには、大幅なコスト削減、効率の向上、PCとモバイルにおけるセキュリティの一貫性など、多くのメリットがありますが、EMM中心モデルにいくつかギャップがあったため、IT管理者がPCのセキュリティと管理にEMMを完全に導入できていませんでした。しかし、MobileIron Bridgeにより、このEMMモデルのギャップが解消されます。基本的に管理者は、現在、従来のPC管理ツールで行っているのと同様に、Windows 10 PCのプロビジョニング、セキュリティ確保、管理を自由に行い、しかもコスト効果と機敏性を上げることができます。

「EMMはWindows 10及びMac OS Xを管理する際の選択肢として最初に入れるべきです。EMMはこれまでのPC管理の常識を打ち破る存在です。なぜならEMMは根本的により効率的な管理機能を提供して、未だに対処されていないユースケースに焦点をあて、既存のユースケースのためにより良いユーザー体験を提供するからです。」  
- ガートナー社 (2016年8月) \*

\*出典: "EMM Should Be Your First Choice for Managing Windows 10 and Mac OS X (EMMはWindows 10およびMac OS Xを管理する際の選択肢として最初に入れるべき)", Andrew Garver, Gartner Catalyst Conference, 2016年8月15~18日。ガートナーは、調査出版物に記載のいかなるベンダー、製品、サービスも支持せず、最高評価または他の評価のベンダーのみを選択するよう利用者に助言もいたしません。ガートナーの調査出版物は、ガートナー調査組織の見解を記したものであり、事実の記述と解釈されるべきではありません。ガートナーは、明示的、黙示的を問わず、この調査に関するすべての保証 (商品適合性の保証や特定の目的に対する適合性を含む) を否認いたします。

# MobileIron Bridgeが 既存のデスクトップスキルを活用

現在は、多くの組織が3,000以上のグループポリシーオブジェクト (GPO) を使って従来のPC管理ツールでPC群を管理しています。EMM機能を大幅に強化したMobileIron Bridgeでは、組織がスクリプトを利用してPCのセキュリティ確保と管理を綿密に行うことができます。

これまでMobileIron CoreおよびMobileIron Cloudでは、モバイルデバイス管理 (MDM) プロトコルを使用してWindows OSの現代的な部分のみセキュリティ確保と管理が可能でした。これは管理者に多大な制御力を提供しましたが、このプロトコルでPCセキュリティ/管理のすべての目標を満たすことはできませんでした。MobileIron Bridgeなら、管理者は同じMDMプロトコルでWindows 10 OSのレガシー部分にも情報を送信できます。

MobileIron Bridgeは、MobileIron CoreまたはMobileIron Cloudを使用し、デバイス導入時にアプリケーションとしてPCにプッシュされます。MobileIron BridgeアプリケーションをOSのレガシー部分に追加することにより、管理者は同じプロトコルを使って両方のセクションに命令を送信し、MDM APIとデバイスに配布したPowerShellスクリプトによるGPOコマンドの両方を使って、強力なコントロールを可能にします。MobileIron Bridgeにより、管理者は、かつてのPCマネージャーがしていたようなWin32アプリの展開、PowerShellスクリプトによるレジストリの書き換え、ポップアップをブロックするルール設定など、命令を送信してOSのレガシー部分の要素に影響を与えることも可能です。

## まとめ

MobileIron Bridgeにより、IT組織は、PCを従来のツール、モバイルデバイスを現代的なツールで管理する複雑でコストの高いハイブリッドモデルから離れることができます。GPOを利用するスクリプトがEMMプロファイルと共存できるため、従来のPC管理ツールは不要になります。スクリプトかEMM APIかを問わず、すべてのコマンドはEMMプロトコルを使用してデバイスに情報を送信できます。すなわちIT組織は、効率性と機敏性の向上およびコスト削減により、組織の生産性向上に集中することができます。現代企業におけるモバイルユーザーのセキュリティが低下することはありません。

## MobileIron Bridgeによって企業にできること:

- EMMでPCを完全に制御する
- リモート (無線) でPCを管理する
- デスクトップのイメージングの必要を減らす
- EMMで配布したPowerShellスクリプトでGPOベースのコマンドを利用する
- レジストリを簡単に編集/管理する
- MSIラップされていないWin32アプリを楽に導入する
- ファイルシステムを可視化する

## MobileIron Bridgeは、これまでEMMではできなかった以下のようなPC管理機能を可能にします。

- ペリフェラルデバイスの定義
- デスクトップショートカットの作成
- デバイスに接続しているハードウェアの判定
- デバイス上のソフトウェアの可視化
- フォルダー内にあるファイルの把握
- レジストリの可視化
- レジストリの変更
- システムアプリであっても不要なソフトウェアはデバイスから削除



415 East Middlefield Road,  
Mountain View, CA 94043

info@mobileiron.com

[www.mobileiron.com](http://www.mobileiron.com)

Tel: +1.877.819.3451

Fax: +1.650.919.8006